

ICCAEとAICADが学術交流協定を締結

東アフリカ3カ国（ケニア、タンザニア、ウガンダ）の8国立大学によるコンソーシアム組織であるAICAD（アフリカ人づくり拠点研究所）のミチエカ所長（ジョモケニアツタ農工大学学長）が、昨年10月、名古屋大学ならびに当センターを訪問した折、ICCAEとAICAD間の学術交流協定締結の申し出を受けた。その後、両組織間で検討を重ねた結果、研究交流をはじめ7項目の交流活動について合意に達し、去る3月19日に竹谷裕之センター長がAICAD事務局（ケニア共和国ナイロビ市）を訪問して、学術交流協定を締結した。署名式には、ミチエカ所長の他、ケニア内のAICAD加盟4大学の代表や、ケニア教育省、日本大使館、JICA事務所等から18名が参列した。

AICADは、加盟8大学の学長、3カ国政府教

育相とJICAで構成される運営評議会が決定権を持ち、3カ国が財政負担しJICAが支援協力する形の、いわば21世紀型のODAとして注目されている。今後、協定をベースとして、両組織を中心とする学術交流が積極的に展開されることが期待されている。



学術交流協定の調印式で署名する竹谷センター長（右から2人目；2002年3月19日、ケニア・ナイロビにて）

ICCAE 2001年度オープンセミナー開催

第3回オープンセミナー

日時：2001年10月19日（金） 13:30～15:00
場所：大学院生命農学研究科A館438号室
演題：アフリカ人づくり拠点(AICAD)プロジェクトの展望および日本—アフリカの大学間協力推進への期待
講師：Dr. JKZ. Mwatelah
AICADプロジェクト事務局長
ジョモケニアツタ農工大学(ケニア) Senior Lecturer

AICADプロジェクトのムワラテ事務局長が名古屋大学を訪問した機会に、AICADに関して講演を行った。岐阜大学教官も含めて教官や大学院生ら15名がセミナーに参加し、JICAが取り組んできた従来の海外協力プロジェクト等とは異なる、AICADプロジェクトの卓越性の如何についてなど、1時間近くにわたり活発な議論が行われた。

第4回オープンセミナー

日時：2001年12月20日（木） 15:00～17:00
場所：大学院生命農学研究科大会議室
演題：ナミビアにおける海藻産業の経済的将来性について
講師：Dr. R.J. Kandando
ナミビア大学農学部食品学科長

カンダンド氏は、ICCAEが取り組んでいるナミビア大学農学部強化支援計画に関連してICCAEに半月間滞在した折りに、研究対象の海藻の経済的な将来性に関して講演した。国連地域開発センターの研究者らを含む参加者（13名）との間で、ナミビア人の海藻に対する食習慣が増す可能性があるのかなど、つっこんだ議論が展開された。

第5回オープンセミナー

日時：2002年2月22日（金） 15:30～17:30
場所：大学院生命農学研究科A館330号室
演題：ODA改革を怠った過去10年のツケ—社会・自然環境の破壊問題に加えて浮上してきた債務キャンセル問題と国際公的不良債権の処理—
講師：鷺見一夫 新潟大学法学部教授

ナルマダ・ダム（インド）、アルンⅢダム（ネパール）、サマナラウェア・ダム、キリンダ漁港（スリランカ）、クダウン・オンボ・ダム、コタパンジャン・ダム（インドネシア）など、現地取材に基づく世界各地のODAによる公共事業建

設の問題点について話され、現地住民の立場から見てODAが本当に役立っているかどうか、吟味する必要がある、と強調された。生命農学研究科や国際開発研究科の大学院生や学生、教官など12名が参加し、ODA援助とわが国内におけるゼネコンによる公共事業展開との類似性など、熱心な質疑が行われた。



資料に基づき講演中の鷺見教授